

関 係 各 位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会  
(事務局：JA福岡中央会 担い手・営農サポートセンター)  
(公 印 省 略)

**営農情報 6**

## 大豆の遅播き対策と今後の管理について

本年の大豆は、6月末からの断続的な降雨により播種作業が大幅に遅れています。一般に、播種が遅れると開花までの日数が短くなり、十分な栄養生長期間が確保されないため、生育量が少なくなり低収となります。

今後は、ほ場の土壌水分や播種後の天候に留意して、確実に出芽・生育するように播種を行いましょう（播種後 1 日以内に大雨の予報がある場合、播種しない）。

### 1 遅播きでの播種のポイント

- ・ 土壌水分が適度になったら早急に播く。
- ・ うね立て播種を基本とする。
- ・ 生育量を確保するため 7 月中旬播きから播種量を増やす（右表参照）。  
※播種前に播種量の設定を確認する。
- ・ 7 月中旬播きから基肥を窒素成分で 2 kg/10a 施用する。

表 時期別の播種量（目安）

播種期	7月11～20日	7月21～31日	8月1～5日
条間(cm)	70	60～70	50～60
株間(cm)	20～15	15～10	15～10
播種量(kg/10a)	4～5	6～8	7～9
1条1mの目標 出芽本数	14～18	20～25	25～30

#### ■ 研究事例の紹介：ディスク式中耕除草機を用いた狭畦栽培

遅播きでは、条間を狭くし、ディスク式中耕除草機による中耕・培土を組み合わせることで収量を確保できる。

- ・ うね幅：150cm
- ・ 条間と条数：50cm、3条
- ・ 株間：21cm

注) 中耕・培土はディスク式中耕除草機を用いて実施。

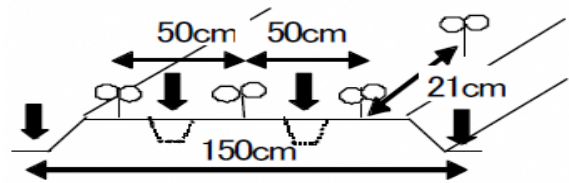


図 狭畦栽培のうね形状

\* 下方向の矢印は中耕培土を実施する箇所を示す。

表 播種時期、播種様式別の生育、収量（平成 18～21 年：福岡農林試農産部）

播種 時期 (月・日)	播種 様式	栽植密度		苗立 本数 (本/㎡)	成熟 期 (月・日)	主茎 長 (cm)	倒伏 程度	㎡当 粒数 (粒)	百粒 重 (g)	子実 収量 (kg/10a)	検査 等級 (相当)
		条間 (cm)	株間 (cm)								
7.10	慣行	70	20	14.3	11.5	72	少～中	1,160	32.2	369(100)	1等
7.25～ 7.27	慣行	70	15	19.0	11.12	69	少	1,130	31.2	331(90)	1等
	狭畦	50	21	〃	〃	66	微～少	1,263	31.4	365(99)	1等

## 【冠水等で播き直しが必要な判断目安】・・・健全株が7割以下と見込まれる場合

- ・播種後出芽までに長時間冠水した場合、出芽の可能性が低い。また、冠水により株に泥が付着したままの場合、枯死する危険性が高い。

## 2 播種後の天気予報に応じて播種の深さを調整

土壌の水分条件や播種後の天気予報に応じて、播種の深さ、鎮圧を調整する。

- 適度な土壌水分がある場合、播種の深さは3 cm程度を基本とする。
- 梅雨明け後、土壌が乾き、天気予報でしばらく降雨がない場合は、再度調整し、基準よりやや深く（5～6 cm）播種し、鎮圧するように設定する。

## 3 梅雨明け後の乾燥対策

開花期～莢伸長・子実肥大期には適度な土壌水分が必要である。

- 梅雨明け後、天気予報でしばらく降雨がない場合は、本暗きよの栓を閉めておく。
- かん水が可能な場合は、うね間かん水を適切に実施する。
- 土壌が乾燥した場合は、中耕を控える（目安：中耕前10日間で20mm以下の少雨）。

## 4 中耕・培土の実施

根系の発達と地上部の生育を促し、雑草防除にも有効である。

- 6月～7月上旬播きの中耕・培土は、本葉が2～3葉期から5～6葉期までに2回、株元に土が十分寄るように実施する。
- 遅播きで生育量が小さい場合は、コンバイン収穫時の「土のかき込み」によって汚損粒の発生が懸念されるため、中耕・培土を5～6葉期頃の1回に減らす。

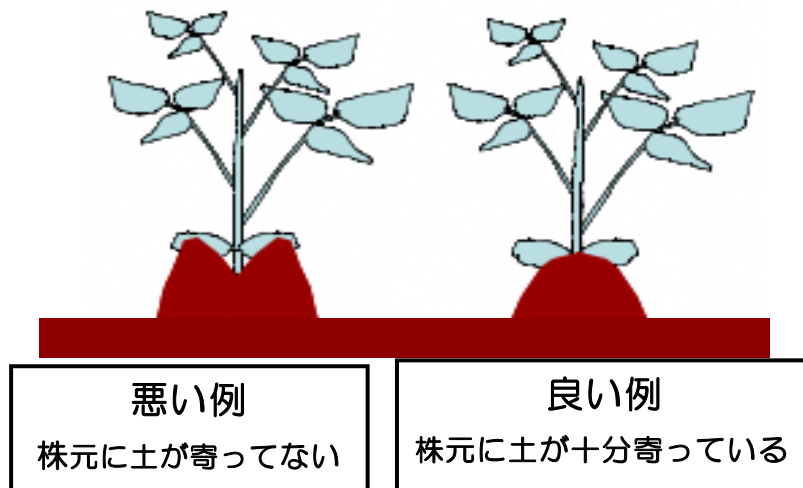


図 土寄せの良い例、悪い例

## 5 病虫害防除に留意

播種時期が大幅に遅れると、開花期や成熟期も遅れるため、通常に播種した時に比べて防除適期が後ろにズレることを留意する。

このため、大豆の生育ステージに合わせた防除計画を立てる。

以上